令和４年９月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

| 質問順位 | 議席番号 | 質　問　者 | 日程 |
|---|---|---|---|
| 1 | 5 | 梅　沢　道　男 | ５日（月） |
| 2 | 9 | 勝　又　貞　夫 | |
| 3 | 13 | 佐　藤　　剛 | |
| 4 | 1 | 黒　岩　揺　光 | |
| 5 | 8 | 永　井　拓　三 | |
| 6 | 7 | 中　沢　道　夫 | ６日（火） |
| 7 | 18 | 牧　野　　晶 | |
| 8 | 20 | 小　澤　　実 | |
| 9 | 2 | 川　辺　きのい | |
| 10 | 4 | 目　黒　哲　也 | |
| 11 | 15 | 中　沢　一　博 | ７日（水） |
| 12 | 14 | 寺　口　友　彦 | |
| 13 | 3 | 大　平　　剛 | |
| 14 | 6 | 田　中　せつ子 | |
| 15 | 10 | 吉　田　光　利 | |
| 計 | | １５名 | |

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

**一括質問一括答弁方式**：　全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。（初回は登壇して行い、質問回数は３回まで。）

**一問一答方式**：　質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

**複合型一問一答方式**：　一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 1<br>議席<br>5<br>梅沢道男<br>（一問一答方式） | **1　職場実態に合わせた定員管理計画の見直しについて**<br><br>現在継続中の新型コロナワクチンの４回目接種は、高齢者が主な対象となっているが、同一世帯や夫婦の接種日や接種場所がバラバラとなるなど、多くの苦情が寄せられている。現場では、これらにも配慮しながら取り組んでいるようだが、思うように進まないのが現状のようだ。コロナ対策は、緊急対応や臨時的対応では限界が来ているのではないか。<br>行政職場全体を見ても、合併後の定員管理計画に基づく職員削減の推進により、現場では、行政対応への限界感も見られるようだ。職員の健康管理も含め、人員の配置計画を見直す必要があると思うが、考えを伺う。<br><br>**2　健診施設等の移転については、慎重な検討が必要ではないか**<br><br>健診施設等の移転については、8月 22 日の医療のまちづくりプロジェクトチーム会議において、建物の概要や施設の機能、想定事業費等が示されたが、議会の担当委員会である社会厚生委員会には、これらの詳細説明や計画の細部が示されておらず、十分な議論がなされたとは言い難い状況にある。加えて、人口減少の進行が極めて深刻な状況にある中、将来にわたる行政経費の縮減は、市にとっても喫緊の課題となっている。<br>今後、ゆきぐに大和病院の移転新築等の計画も控えている中、このような大規模事業の推進に当たっては、長期的視点に立ち住民サービスの継続性の担保や他の事業への影響等について、これまで以上に慎重な検討が必要と思うが、考えを伺う。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 2<br>議席<br>9<br>勝又貞夫<br>（一問一答方式） | **1　図書館の改善について**<br><br>（１）日本一の図書館を目指すための具体的戦略はどんなものか。<br><br>（２）改善が進んだとすれば、それはどんなことか。改善が進まなかったとすれば、その原因は何か。<br><br>（３）今後、必要とされる改善点は何か。<br><br>（４）駅前図書館を年中無休の図書館にできないか。<br><br>**2　予算書・決算書の書式の改善について**<br><br>毎年の予算書や決算書は、市民に対する報告書である。税金が使われる流れを目で追っていけるように、誰にでも分かりやすく書かれていることが基本だと考える。令和４年度の予算書の書式を変えたのはなぜか。今後も改善の考えはあるか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 3<br>議席<br>13<br>佐藤剛<br>（複合型一問一答方式） | **1　新しい健診施設に求められる機能と役割について**<br><br>（1）人生100年時代に対応するこれからの健康課題である健康寿命の延伸の実現に向け、新しい健診施設の役割をどう求めているか。<br><br>（2）新しい健診施設は早期発見、早期治療につなぐだけではなく、予防医療の足がかりとして、市民が健康診査、人間ドック等を受診しやすい環境整備と健診の受診率向上に結びつけることが極めて重要だが、その対応は。<br><br>（3）医療のまちづくりプロジェクトチーム会議で示された健診施設構想は、大きな財源を必要とする計画だが、構想に伴う財源確保と新たな収益増につなげる施策はあるか。<br><br>**2　地域の包括的ケアの実現に向けた取組状況について**<br><br>（1）市民病院では在宅復帰を一つの目的にする地域包括ケア病床が始まり、また回復期リハビリテーション病棟も動き出す予定だ。その受け皿としての在宅医療・在宅介護の対応をどう進めているか。また今後について充実の考えは。<br><br>（2）うおぬま・米ねっとの普及と活用の状況はどうか。<br><br>（3）遠隔診療の取組について検討は進んでいるか。<br><br>（4）市民が支える健康のまちづくりの基盤づくりを。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 4<br>議席<br>1<br>黒岩揺光<br>（一問一答方式） | **1　コロナで市民生活がひっ迫する中、市長が身を切る改革を断行すべきでは**<br><br>（１）水道料金やごみ袋料金など、市民に高い生活費を課している一方で、市長交際費は他の自治体と比べて高額となっている。平成 28 年度からの６年間で約 970 万円となり、人口が多い柏崎市（637 万円）や新発田市（721 万円）よりも高額となっている。市長交際費を他の自治体並みにすべきでは。<br><br>（２）市長の年収は 1,200 万円を超え、４年間の任期を全うすると、退職金が 1,739 万円支給されるが、この額は適当か。<br><br>**2　水道料金の福祉減免制度を広く周知し、存続させるべきでは**<br><br>（１）市内の高齢者世帯、生活困窮世帯は増え続けているのに、非課税の高齢者世帯が申請できる水道料金の福祉減免制度の利用世帯数が平成 29 年の 710 世帯から、今年３月には 595 世帯へと減少している。申請漏れの世帯があるのではないか。<br><br>（２）水道料金の改定が審議されているが、新しい料金体系が始まる際に、市は福祉減免制度を廃止する意向を示している。市が上下水道審議委員会に提示している料金体系案が、そのまま採用された場合、現在、福祉減免を受けている世帯は、水道料金が大幅に上がる可能性が高い。毎月５トンの水を使う場合、改定案では毎月 850 円ほどの値上げになる。市長は水道料金 1,000 円値下げを公約にしたにもかかわらず、一番経済的に苦しい世帯の料金が大幅に上がるのは完全な公約違反ではないか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 5<br>議席<br>8<br>永井拓三<br>（一問一答方式） | **1　公共施設の水害・土砂災害対策について**<br><br>市は平成 23 年 7 月 26 日から 30 日までの豪雨によって水害に見舞われた経験がある。近年の突発的な豪雨により、六日町駅西側は度々冠水し被害が出ている。<br>公共施設の水害及び土砂災害対策について、以下のとおり質問する。<br><br>（1）洪水ハザードマップは、作成時と現在の予想降雨量などに差はないか。<br><br>（2）教育施設（保育園含む）及びその他公共施設が、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域の場合どのような対策がとられているか。<br><br>**2　市職員の副業の推進について**<br><br>社会の動向で、副業を認め推進している企業も出てきている。職員が農業や観光事業などに従事し、地域内の食料自給率の向上を図ったり、関係人口を増やすことが必要だ。これらの取組は人材不足を補う一つの手段になりうると思うが、市の考えはいかに。<br><br>**3　５歳から１１歳までの新型コロナワクチンの接種について**<br><br>新型コロナワクチン接種対策室が保育園等に送った集団接種の案内文の中に、日本小児科学会の見解として、メリットがデメリットを上回っているため、学会がワクチン接種を推奨している旨が記載されていた。国からの受託事務としてワクチン接種を実施していることから、市が推奨しているように読むことができる。<br>５歳から 11 歳までの新型コロナワクチンの接種について、努力義務ではなく自主的な判断による接種であると認識しているが、市の考えはいかに。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 6<br>議席<br>7<br>中沢道夫<br>（一問一答方式） | **２０５０年カーボンニュートラルに向けた市の対応について**<br><br>（１）政府の温室効果ガス削減目標をどのように捉えているか、認識を伺う。<br><br>（２）脱炭素対策には、省エネルギーによるエネルギー消費の削減と再生可能エネルギーを増やしていく必要があるが、対策をどのように考えているのか伺う。<br><br>（３）脱炭素政策を進める上で、技術やコスト面など専門的な情報が必要だ。自治体が先頭に立つ必要があると思うが、考えを伺う。<br><br>（４）脱炭素への転換は、光熱費の削減や起業・創業など、地域経済へのメリットも大きいと考えるが、見解を伺う。<br><br>（５）新ごみ処理施設の建設が、今後具体的に進められていく。脱炭素に向けて徹底したごみの減量と資源化が求められると思うが、考えを伺う。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 7<br>議席<br>１８<br>牧野晶<br>（一問一答方式） | **１　入札について**<br><br>技術者不足や人手不足により廃業する法人が市内でもあるが、市内法人を優先しなければ市民の雇用の場が減少する。市内法人や、市民が働いている法人に建設工事や備品購入などを優先して仕事を発注してはどうか。<br><br>（１）例えば 5,000 万円の物品購入で国からの補助や交付税算入が 2,500 万円であれば、500 万円くらい市内業者が高くても市の力になるのではないか。<br><br>（２）市内に業者がなくなれば、市外に仕事が出ていくことになり悪循環に陥るがどう考えるか。<br><br>（３）下請けも市内の業者を利用するように指示を出しているか。<br><br>（４）１年前の一般質問でも同様の質問をしたが、何か変えたことはあるか。<br><br>**２　映画鑑賞バスを企画しては**<br><br>市民要望の高いものに「市内に映画館を」という声がある。映画を見るために長岡に保護者から連れて行ってもらう子供や電車に乗っていく子供もいる。小学校高学年から高校生、北里保健衛生専門学院生を対象とした「学生しか乗車不可」「映画を見なければ乗車不可」といった映画鑑賞バスを企画し、月に１回、もしくは夏休み、冬休み、春休みの長期休みに運行してはどうか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 8<br>議席<br>２０<br>小澤実<br>（一問一答方式） | **１　八海山麓観光施設の今後について**<br><br>八海山麓スキー場が開場し54年、サイクリングターミナルが建設され39年、勤労者体育館が建設され32年が経過した。平成20年度より指定管理となり現在に至っている。今後の施設整備の方向性や周辺の整備計画も含め、市長の考えを伺う。<br><br>**２　肥料高騰対策について**<br><br>肥料高騰に伴う有機センターの活用と浄化センターから発生する汚泥の利用について、市長の考えを伺う。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| 9<br>議席<br>2<br>川辺きのい<br>（一問一答方式） | **1　プラスチック資源循環促進法の施行と市の取組について**<br><br>環境省は、廃プラについて焼却から資源化に方針転換した。新ごみ処理施設の建設計画とも時期が重なった。<br>プラスチック容器・製品の大量生産、大量流通、大量消費をなくすことこそが最大の課題と考えるが、市の環境共生の方針について伺う。<br><br>**2　新型コロナ感染拡大から市民の健康・暮らしを守ることについて**<br><br>（1）感染拡大を抑止する上で、事業所や教育・保育・医療・介護等の施設での頻回検査や、行事参加の前後などでの検査が重要であることがはっきりした。<br>施設への抗原検査キットの配布など、ＰＣＲ検査や抗原検査を、誰もが、いつでも、何度でも、経費の心配なく受けられることが重要と考えるが、市長の見解を伺う。<br><br>（2）ワクチン接種は、かかりつけ医や、より自宅に近い会場で接種したいという声がある。接種率向上のためにもそうした声に応えるべきではないか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １０<br>議席<br>４<br>目黒哲也<br>（一問一答方式） | **商工業の振興について**<br><br>第２次南魚沼市総合計画にある商工業の振興について、施策の基本方針である３点を伺う。<br><br>（１）商店や商店街機能の充実、消費者から選ばれる特色ある商品やサービスの創出、起業や創業支援への構想を伺う。<br><br>（２）ＩｏＴやＡＩといった新しい技術やデジタル化への構想を伺う。<br><br>（３）産官学金連携による産業支援や先駆的な情報サービスの分野など新たな産業の創出への構想を伺う。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １１<br>議席<br>１５<br>中沢一博<br>（一問一答方式） | **１　「経済財政運営と改革の基本方針２０２２」と令和５年度当初予算編成方針について**<br><br>政府は６月７日の閣議で「経済財政運営と改革の基本方針2022」を決定した。市の予算編成に向けた取組について伺う。<br><br>（１）中長期の視点に立った持続可能な経済財政運営と第２次南魚沼市総合計画（後期基本計画）及び実施計画についての考え方は。<br><br>（２）令和５年度予算編成方針と重点施策についての考え方は。<br><br>**２　中小企業の事業再生に向けた取組について**<br><br>コロナ禍が長引く中、物価高騰などの影響もあり中小企業の債務が膨らみ、返済が困難になるケースが増えている。特に、飲食や旅行など対人サービス業は深刻である。市の支援・取組について伺う。<br><br>**３　市における住宅宿泊事業の実態と地域協会・団体との関わりについて**<br><br>国は一般住宅を宿泊施設として活用する住宅宿泊事業を 2018 年６月より実施している。訪日外国人の急増に伴い施行したが、現実はコロナ禍が長引きストップしている状態である。ウィズコロナに方向転換し、海外旅行客の入国規制を緩和する中、市の実態と地域協会・団体との関わりについて伺う。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １２<br>議席<br>１４<br>寺口友彦<br>（一問一答方式） | **１　保健・医療・福祉について**<br><br>生活困窮世帯へのプレミアム付商品券無償配布に対する市民からの問合せに納得いただける説明体制ができていたか。<br><br>**２　教育・文化について**<br><br>大原運動公園テニスコートの残り 12 面の人工芝張替えを急ぐべきではないか。<br><br>**３　環境共生について**<br><br>先進事例視察地として選んだ上越市の例を見るまでもなく、専門家と市の幹部を入れた新ごみ処理施設建設検討委員会を早急につくるべきではないか。<br><br>**４　産業振興について**<br><br>観光業者の南魚沼支店を開設してもらい、グリーンシーズンの合宿・大会参加者への補助金やスポーツ施設を利用したイベント開催なども視野に入れた、ポストコロナ観光地域づくりを考えるべきではないか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １３<br>議席<br>３<br>大平剛<br>（一問一答方式） | **今後のふるさと納税について**<br><br>ふるさと納税は、自治体にとって貴重な財源であると同時に、うまく活用すれば地域・地場産品の魅力発信や交流人口の増加、さらには将来の定住へつながる制度であり、さらに活用するべきと考える。<br><br>（１）大変好調なふるさと納税であるが、さらなる成果を目指して今後どのような方針・方策を考えているか。<br><br>（２）ふるさと納税を活用した交流人口の増加について、市の考えは。<br><br>（３）企業版ふるさと納税の活用について、市の考えは。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １４<br>議席<br>6<br>田中せつ子<br>（一問一答方式） | **１　森林環境譲与税の活用について**<br><br>森林環境譲与税の配分が始まり、それを活用した事業も始まっている。里山再生・林業人材育成・林業振興は、防災・鳥獣対策だけでなく、脱炭素社会の実現を含め、どう木材の利用を促進するかが重要と考える。<br><br>（１）公共施設の木材利用は新築だけでなく、木質化リノベーションが必要ではないか。<br>（２）木を使った工芸品等の新たな動きが広がっているが民間事業者への支援はあるか。<br>（３）先進地である川崎市木材利用促進フォーラムに入会するなど、都市部の消費地と連携して事業を推進する考えはあるか。<br><br>**２　学童保育の充実について**<br><br>2021 年度は待機児童がゼロと報道されたが、今年度は申請数と受入数に大きな差があり、児童数の減少が続く中であっても、市民ニーズに応えきれていない。急速に進む少子化の対策の一つとしても、学童保育の充実は重要と考える。<br><br>（１）今年６月時点で申請数 934 人に対し受入数 808 人の原因と今後の見通しはどうか。<br>（２）保護者負担額の減免は、ひとり親世帯の減免がなく、１世帯２人以上の場合や市民税非課税世帯は減免率も低い。見直しが必要ではないか。<br>（３）保育時間について、近隣の市は 18 時 30 分までだが、当市は 18 時まででそれを超えると延長保育料が必要になる。見直しが必要ではないか。<br>（４）平成 29 年度に入所基準を厳しくし、同居していなくても徒歩７～８分以内に居住する祖父母がいる場合は、保育できない理由が必要という基準は見直しが必要ではないか。 |

| 質問順位 | 質　問　内　容 |
| --- | --- |
| １５<br>議席<br>１０<br>吉田光利<br>（一問一答方式） | **１　人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金の活用について**<br><br>株式会社アルプス技研創業者最高顧問松井利夫様からの高額な寄附をもとに松井基金が設置され、市の発展に向けて各産業の振興、起業へのチャレンジ支援事業、リゾートオフィス・田園都市構想による移住・定住の促進、人材育成及び人流やコミュニケーションの活発化を図るため、事業創発拠点を開設するなど、目的・目標に向けて基金の活用を進めている。<br><br>（１）帯広市、上士幌町を視察し、公益財団法人とかち財団の運営及び産業の成長性についてどのように感じたか。<br><br>（２）松井基金の運用は手続上制約が多く、活動の自由とスピード及び事業の持続性に課題が出ているように思う。そこで、とかち財団の運営手法を参考にし、南魚沼市版の公益財団法人を設立してはどうか。<br><br>（３）松井利夫様に南魚沼市のまちづくりアドバイザー的な役職をお願いし、基金の活用にスピード感を持たせ、成果につなげてはどうか。<br><br>**２　小学生の元気な挨拶について**<br><br>挨拶の大切さは、人と人とのコミュニケーションの第一歩である。私はある活動を通じて、小学生たちから「おはようございます」あるいは「こんにちは」と、元気いっぱいな挨拶をもらい、感動した。家庭教育はもちろんであるが、学校の教育方針が大きいのではと感じた。市内小学校の挨拶の励行方針はどのようなものか。 |